

広島工業大学

同窓会誌



第37号
2003年

目次 —MOKUJI—

題字 鶴 襄 名誉総長

年頭にあたりご挨拶	1
広島工業大学同窓生の皆様へ	2
支部だより	4
People	8
大学だより	14
同窓会本部	16

広島工業大学学歌
歌詞 広島工業大学選定
作曲 井上 佳
緑なる 緑なる三宅
深きいわれの 御倉を開き
倫哲愛を誇る 我等が学府
見よや行くて 精気の学士
研学の道 倚りてぞ極む
ああ 広島工業大学

第38回広島工大同窓会 総会の開催について

1. 日 時 平成15年 4月19日(土)
 - ・午後3:00～4:20 総会記念講演 講師 広島工大 環境学部 菅 雄三先生
“宇宙から地球環境を考える”
 - ・午後4:40～5:30 第38回同窓会総会
 - ・午後5:50 記念撮影
 - ・午後6:00 懇親会
母校の先生方を多く御招待する予定です
2. 場 所 広島県民文化センター（鯉城会館） TEL245-2322
広島市中区大手町1丁目5-3（そごう、バスセンター・デオデオ本店南側）
3. 会 費 5,000円（当日、会場にてお願いします）
4. お 願 い
 - ・総会当日、参加者名簿を配布します。名簿作成のため氏名、卒業年、学科、勤務先（さしつかえなければ）を4月10日(木)までに連絡をお願いします。
連絡方法：ハガキ TEL(082-921-3121 内線8103) FAX(082-922-1925)
Eメール(dosokai@jim.it-hiroshima.ac.jp)（当日とびこみの方も受け付けます）
 - ・特に今回卒業後30年目(昭和48年卒)・20年目(昭和58年卒)・10年目(平成5年卒)の方
ふし目の年ですのでお互いに連絡しあって御参加下さいますようお願いします。
 - ・友達同志・仲間をさそってグループでも是非御参加下さい。



年頭にあたりご挨拶

広島工業大学同窓会
会長 横山 健次

同窓生の皆様方におかれましては、清々しい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、過ぐる年を振り返ってみますと、未だ我々が経験したことのない経済不況、又、いつ戦争が起るかと不安な世界情勢、その中で、相も変わらず無責任で暢気な政治家たち…妙な世の中になったものです。そうした中で我々一人ひとりはい体どのように責任を果たそうとしているのでしょうか？ この街の、この国の、この惑星の未来を誰に託しますか？ 少数の指導者の責任に委ねようとしていませんか？

我々日本人は、何かの問題を解決しようとする、すぐに「How to ~」、つまりどうすれば良いかを求めます。しかし「Why ~」、なぜそれをするかを考えないと、根本的な解決にはなりません。

日本の場合、これまでは海外に良い手本があったので、それをなぞってきたという所があります。また、それを改良・改善して「日本流」に消化していくことが特色でもありましたが、そろそろ、その手本も無くなってきました。それは自らが創り出さざるを得ない状況になったと言えます。そういう意味では、この度の田中耕一氏のノーベル賞は日本人に勇気を与え、我々日本人に自信を取り戻させてくれるキッカケになったと思えます。

日本という国は、良い答えを出す人に良い点を与えるから駄目。本当は、良い質問をした人に良い点を与えれば、情報量も増え、その人の伸びにも繋がります。そういう人を育てたり、評価して

いくことが大切なのです。そうしなければ、新しい価値を創り出すことが出来ないと思えます。

我々は、大学を卒業して社会に巣立っていきました。大学は単に、青春の思い出の場所に過ぎないのでしょうか？ 大学は今、新たな生涯学習大学への道を模索しています。学生時代はカリキュラムがあり、授業科目が用意されていました。しかし、我々社会人にはカリキュラムはありません。周りのすべてが学ぶべき対象の科目のようなものです。その中で、自らの意志で学びたいものを学ぶ。まさに生涯学習大学は、自分の大学、私の大学となり得ます。

広島工業大学は、特定科目を学ぶ科目履修生、特定の研究を行う研究生、専門分野を深く学び研究する大学院（社会人入学制度）等があります。同窓会としても、大学への協力は惜しまないつもりです。同窓生にとって、メリットのあるあり方をお願いしていますので、その機会が来た場合、チャレンジしてみてください。そうした中で自らを高め、又、社会の階段を一步上ることができると確信しています。

いずれにしても、大学は同窓生にはとても優しく暖かい所です。もう一度目を向け足を運んでみてはいかがでしょうか？ その敷居をより低くする為にも、同窓会への積極的な参加を切にお願い致します。

最後に、同窓生の皆様方の益々のご活躍とご多幸、ご健康を祈念致します。



広島工業大学同窓生の皆様へ

学校法人鶴学園
理事長 鶴 衛

広島工業大学同窓会が、37回目の同窓会誌を発行されるにあたり、心よりお慶びを申し上げます。間もなく、約1,000名の新たな同窓会メンバーが広島工業大学を卒業して行きます。この若い力が、同窓会の益々の発展に貢献してくれることを期待しています。

さて最近、小柴昌俊さんと田中耕一さんのノーベル賞ダブル受賞以外には、あまり良いニュースがないように思います。北朝鮮は拉致事件の国家関与を認め、5名の方が帰国できましたが、その後の日朝国交正常化交渉にはあまり進展が見られません。国内の景気は依然として低迷が続いています。少子化は引き続き進み、私学にとっては厳しさが増すばかりです。世界をみても、一昨年のニューヨークでのテロ事件以来、世界の数カ所で爆破テロが発生するなど、世界平和の実現という広島の願いは、まだまだ実現が難しいようです。

そこで、今年は少しでも良いニュースが出てこないかな、という希望を持って干支の羊について調べてみました。すると、漢字の中に“羊”を一部に使ったものは、なかなか良い漢字があることが分かりました。私なりのこじつけも加えると、例えば、美＝美しい、着＝新しいことに着手する、群＝群を抜く、善＝善は急げ、義＝義理人情に厚く、養＝心を養う、羨＝羨ましい、翔＝飛翔、祥＝めでたいしるし、鮮＝新鮮などです。もちろんこれら以外にあまり良くない意味での“羊”を使った漢字があるかもしれませんが、ヒツジが昔は神に供えるいけにえに使われていたことから、羊を一部に持つ漢字には「めでたいもの」「美しいもの」という意味を含んだものが多くあるそうです。今年は、日本経済をはじめ多くの分野で、“羊”を使った漢字に縁のある良い年になってもらいたいと

願っています。間違っても“羊頭狗肉”にならないように。

しかし、私立学校を取り巻く環境は、羊を使った漢字とは縁が薄いようです。まず少子化の傾向が止まりません。全国で昨年に生まれた赤ちゃんの数は、115万6,000人で前年より15,000人減少し、二年連続で過去最少を更新したそうです。

また、日本の社会で広まっている“評価の時代”という流れが、教育の世界にも影響を及ぼすようになり、国の教育政策において新たな動きが生まれています。これまで各大学には、自らの大学の教育や研究を点検・評価するという、いわゆる“自己点検・自己評価”が義務付けられていましたが、平成16年開始を目処に、第三者による評価が義務付けられる方向での検討が急ピッチで進んでいます。この第三者評価制度は、文部科学省に認証を受けた認証機関から、大学教育研究水準の維持向上のために全学的な教育研究等の評価を受けるといふものです。これにより、教育研究への取り組み、学生からの人気度などで、大学のランキング化が現れるかもしれません。さらに近年の文部科学省の高等教育関連予算の中で私学への補助金は、各大学へ平等に配分するものは抑制し、特色ある教育研究を実践している大学には手厚くするという競争的配分の色彩を濃くしています。このことから、本学においては教育研究活動に関する自己改善を継続して推進していくことが不可欠となります。

さらに評価をするという傾向は、大学間の競争激化にもつながってきます。第三者評価制度は、大学で実践している教育研究を評価するのですから、事後評価にあたります。これに対して、これまで大学で新しい学科や学部を設置するときには、

文部科学省からの認可が必要となり、厳しい審査が行われてきました。これは、実際には、事前評価を受けていたことになります。つまり、これまでの文部科学省は、事前評価を厳しくし事後評価には重点を置いていませんでしたが、これからは事後評価を重視することにより、事前評価の部分を緩和します。この緩和により、各大学では学生の入学定員を増やすことなく、これまで設置していた学科・学部と類似する学科・学部を設置する場合には、認可ではなく届け出ですむことになります。例えば、広島工業大学において新しい学科や学部を作る場合、大学全体の定員を増加させることなく、学士の種類が工学と環境学の範疇に入るものであれば、届け出ですむことになります。しかしこれは裏を返せば、全国の私立大学が少子化において学生確保のために新しい学科や学部を設置したいという同じことを考えていることにより、それだけ大学間の競争が一層激しくなるということです。また、国立大学が独立行政法人となれば、国立大学も私立大学と同じ土俵に上がってくることになり、いよいよ戦国時代と言える状況が生まれてきます。もっとも、このような競争社会の出現は、卒業生の皆さんが働いている業界では昔から当然あったことです。むしろ、これまで倒産などといった競争がなかった教育社会が、その他の社会と離れた不思議な世界であったと言えます。しかし、すでに定員割れを起こしている4年制大学が出てきているように、いよいよ教育の社会も本格的な競争社会に突入しました。

このような環境の中で、広島工業大学が目指す教育の方向は、学生に対する熱い「想い」を持って、「個性を尊重し、一人ひとりを生かす教育」を教育職員と経営事務職員とが相互に連携・協力して作り上げて行くことです。その際、特に教育職員にあっては、学生の個性を的確に把握し、個性に適合した多様な教育指導を行う必要があります。そのためには、個性を見出す努力と教育指導上の工夫に取り組まねばなりません。このことは、『教育は愛なり』という建学の精神と『常に神と共に歩み社会に奉仕する』という教育方針を具現化することにほかなりません。国公立大学においても個性・特色のある教育の発揮に取り組んでいますので、これに対抗するために私学としては、建学

の精神と教育方針に基づく独自の個性・特色ある教育を手作りによって築くことに全力で臨まなければなりません。その意味でも大学の教職員が一致協力をして、熱い「想い」によって「個性を尊重し、一人ひとりを生かす教育」を実現することが必要です。そしてこれが実現できるように、私も努力して行く所存です。

最新の学園情報として、学校法人鶴学園では、今年の4月より広島市佐伯区の新たな埋立地に『なぎさ公園小学校』を開校します。この小学校の設置を契機に、21世紀に対応する鶴学園の初等・中等教育の「教育目標」として、①21世紀型「高学力」の養成、②グローバル生活人の育成、③創造性の練磨、④リーダーシップ育成の4点を掲げました。これにより本学園は、小学校から大学・大学院までを備えた総合学園となり、小学校・中学校・高等学校の一貫教育、高等学校間の協力、高等学校・専門学校・大学の連携などといった特長をいかに発揮し、厳しい環境を乗り越えてさらに発展して行きたいと考えています。そしてこの発展が、広島工業大学同窓会の活性化につながることを祈念しています。

最後になりましたが、平成18年には、学校法人鶴学園は創立50周年を迎えます。同窓生の皆様におかれましては、今後とも広島工業大学をはじめ、本学園への益々のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。



支部だより



岡山支部活動10周年を振り返って

岡山支部事務局長

安田 邦夫 [昭和55年
経営工学科卒]

去る平成14年11月に岡山支部総会も第11回を迎えた。支部設立満10周年になる。

定期総会は、例年通り前年の活動報告並びに本年度の活動方針が承認された。引き続いての懇親会は、鶴理事長他諸先生方をお迎えして行われた。琴と尺八による演奏のアトラクションも加わり、同窓生同士や母校の先生方との懐かしい語らいの時間を過ごした。和やかなムードの中で恒例のビンゴゲームも楽しみ、近況を知らせ合ううち、あっという間の2時間であった。

第1回の設立総会には、100名余り会員の参加が得られたが、以来毎年総会参加者が減少し、今では支部役員を入れて20名余りの出席者である。総会参加者を増やすことが目的ではないものの、多くの同窓生が集うような会でなければいけないと思い、役員の間でもいろいろ知恵を出しあってはみるものの妙案が無く今まで経過している。

さて、岡山支部の活動を含めた実情を紹介したい。

まず、トップである支部長は、村上侑氏（昭和38年電子卒）。活動の要である幹事長は森聖輝氏（昭和46年土木卒）。他役員10数名で日常の活動を行っている。昨年で大学を退職された圓見先生（元経営工学科教授）に顧問をお願いしている。先生には、岡山支部設立の時にご尽力頂いたご縁と、また当地が先生のふるさとという縁もあり快く？お引き受け下さっている。

この10年間には、支部役員の中でも、転職、退職に到った方、また転勤異動で遠く離れた所で活

躍中の方と様々である。設立以来新しい役員をなかなか迎え入れることも出来ないまま、マンネリ化しなければと思いつつ、ほぼ当初の役員で切り盛りしているのが実情である。

同窓会員には、学科の再編で、母校に卒業学科が無くなる事態は納得がいかないと同窓会活動に後ろ向きな会員もいる。大学がなくなるわけではないと分かってはいても、学科の歴史が自分の足跡の証と思う気持ちから割り切れない思いを聞き、複雑な心境であるのは事実である。

すばらしいニュースもある。すでに同窓会のホームページで紹介されているので、ご存知の方もおられるかも知れないが、4年前にわが役員の中から、和氣健（昭和45年土木卒）岡山市議会議員が誕生している。2ヶ月に一度の支部役員会には忙しい中でも顔を合わせ、役員として同窓会のあり方を議論し、また岡山市政の行く道をも語りあうことがある。

次に、今までの活動の足跡を辿ってみる。

一つめは、数年前より教育懇談会と支部総会の同日開催を実現することが出来た。大学行事への協力と、またより多くの先生方に支部総会へ参加頂く為である。

支部として大学へ貢献できていることは、教育懇談会へ出席されているご父兄に対して卒業生による相談窓口を開いていることである。ご父兄にとっては会社の一線で活躍している大学の先輩の声として就職活動を含めたアドバイスは多少なりともお役に立っているのではないかとと思っている。

二つめは、数年前より本部から通信費の援助を頂くことになった。支部活動をより盛り上げるには、少なくとも総会への参加呼びかけをより多くの方々に案内しなければなりません。手弁当での活動であっただけに大変有り難いことである。逆に、所在不明者など名簿のメンテナンスにも少なからず協力させてもらっている。

その他の活動としては、毎年11月の総会へ向けての準備活動が中心だが、それ以外には母校の入試監督の補助員（年2回）、本部総会や支部長連絡会への出席、岡山地区での公開実験への支援などがある。これからも特に岡山地域での大学PRの支援は労を惜しまないつもりでやっていきたい。

日頃の活動としては、ニヶ月に一度程度役員会を開催している。週末の夜に会合をセットし、“魅力ある支部活動にするには”を議論しながら、また、母校からの情報、同窓会本部の活動報告、などを話題とした役員会を行っている。毎回五名から八名くらいの出席者である。

役員には、会社でも相応の立場で自由な時間が少ない方も多い中で、いつも同じ顔ぶれではないが、兎に角定期的に開催している。

以上のような支部活動を、当初より暗中模索の中で続けてきたが、我々の思いだけでは、方向違いがあってもいけないと思い、“支部活動（総会）

を魅力あるものにしていく為には”と題して一昨年の総会において会員の皆さんの意見を伺った。

参加費の軽減、総会会場の場所（地域）の工夫、さらに情報交換を主体にした総会、お互いの企業見学会を兼ねたオープンな総会、一般の参加が得られるような講師を招いての公開講演会開催など、多くのヒントを頂いた。可能なことから試行錯誤を重ね、会員のお役に立つ活動をしていかねばならないと考えている。

最後になるが、今までの活動は、主に社会の中にあって企業人同士のつながりで、同窓生、先輩後輩の関係で、行ってきた。これからは会員の中でも企業人の卒業生も出てくる。地域社会とのつながりも考えなければならない時代になってきた。さらに視点を変えて支部活動のあり方を考えなければならなくなったようである。

そして、念願である総会運営も役員によるものでなく、年度毎の学科持ち回り幹事で行えるようにしていくなど身近な活動として定着させていきたいものである。

長々と支部の活動状況を過去から現在までを振り返って書き綴ったが、今後の支部運営にアドバイスを頂戴出来れば幸いに存じます。

同窓会員皆様のみますますのご活躍をお祈り申し上げます。



広島市水道局三宅会（広島工業大学同窓会広島市水道局支部） 発足にあたって

広島市水道局支部長

江郷 道生 [昭和43年
電子工学科卒]



平成14年5月16日、広島市内『八丁堀シャンテ』にて広島市水道局三宅会（広島工業大学同窓会広島市水道局支部）が発足いたしました。

当日の発足会には、大変ご多忙の中、大学を代表されて工学部建設工学科教授の皆田理先生に、同窓会本部から横山健次会長、桜井元康幹事長、小西正明支部担当に御出席いただき盛大にスタートすることができました。

発足会では、発起人代表挨拶、支部規約の承認、支部役員の選出等を行い、支部長挨拶に続き、ご来賓の皆様からはそれぞれ心温まるお祝いのお言葉と同時に皆田先生からは建学の精神である「教育は愛なり」を踏まえ、「常に神と共に歩み社会に奉仕する」教育方針で開講されている各学部・学科の内容等、母校の近況報告を、横山会長からは工大卒業生がすでに3万人を超えている同窓会の近況報告をいただきました。

その後、横山会長から支部旗が授与され、目出度く支部の発足となり支部担当責任者で、機械システム工学科助教授の小西先生の乾杯で懇親会に入りました。懇親会では、益々発展した母校の近況ビデオを拝見しながら諸先生方との思い出話で盛り上がり、会員には職場を離れて、同じキャンパスで学んだという懐かしさが募り終始和やかな雰囲気でした。最後に忘れかけた校歌をスクラムを組んで歌うことで、より絆が深まったようです。

支部発足については、地元広島役所であることで、以前から幾度も打診がありました。特に小西先生と私は同期で、専攻は異なりましたが研究室が一緒であったことから強い要請がありました

が、気運が盛り上がりず時が経過しました。一方、職場内では組織に縛られることなく自由に集まれる広島工大OB会として、節目、節目に懇親会を開催して親睦を深めていましたが、水道局及び水道サービス公社の職員762名の内、工大OBが約1割の75名になったことと、市長事務部局や消防局に支部があることや、今後新しく入局してくる後輩のためにも支部を結成しようという空気が強くなり、昭和48年機械工学科卒の西村慎治さんを中心に有志が集まり、小西先生の指導を仰ぎながら準備を進めました。会の名称も自由な発想で『同じ三宅の丘で学んだ者の集まり』ということで『三宅会』に決まりました。

ここで広島市の水道について紹介をしますと、本市の水道は明治31年（1898年）8月25日に横浜、函館、長崎、大阪について全国で五番目の近代水道として創設され、翌32年1月1日に給水を開始しました。当時の給水人口は4万5,170人、一日最大給水量は5,929立方メートルでした。その後市勢の発展に伴い、7回の拡張工事を行いました。その間、世界最初の原子爆弾で壊滅的な打撃を受けた際にも職員の献身的な努力により一時も断水することなく廃墟の街に水を送り続けました。現在、給水人口は約115万人、給水能力は約63万立方メートルを誇り、広島市及び安芸郡府中町並びに坂町へ給水する広域的水道として発展を続けています。こうした中、広島市の水道は、その水源のほとんどを環境庁（現在の環境省）の名水百選に選ばれている母なる川『太田川』に求め、常に安全で良質な水道水を安定して供給しています。

最後になりましたが、支部発足にあたり多大なご支援をいただきました小西先生をはじめ、諸先生方や同窓会本部の皆様にご心より感謝申し上げ、微力ながら母校と同窓会のますますの発展に寄与できればと意を決したところでございます。今後とも宜しくお願いいたします。

長崎県支部

25周年を記念して

母校へホームカミング!!

熱烈歓迎

ようこそ心のふるさと母校へ!!

熱烈歓迎 ようこそ心のふるさと母校へ ようこそ広島工大へ

バスをチャーターして 心のふるさと母校へ

母校で第25回目の記念総会を母校の恩師を囲みながら

母校のキャンパスを散策。なつかしい下宿先や思い出の場所

をたずねての 母校ホームカミングを企画される

広島工業大学長崎県支部第25回総会広島開催予定

開催日 平成15年10月11日(土)

14:00から

長崎県支部 支部長 山本 良仁 1972(S47:土木4期卒)

(勤務先) 長崎県道路公社

〒850-0035 長崎県長崎市元船町17番1 長崎県大波止ビル5階

TEL095-823-2600 FAX095-827-3463

場 所 広島工業大学学内(講堂)

県庁(内線) TEL095-824-1111(3994)

参加人員予定 15名~20名(支部)

(自 宅) 〒852-8152 長崎県長崎市住吉台町2-2 201

TEL/FAX095-847-7998

【行事予定】

※移動は、11日&12日2日間貸切バス。

10月11日(土) 8:00頃 長崎市内出発

(佐世保市三河内インター経由;長崎自動車道~西九州道経由)

14:00頃 広島工業大学到着予定

14:00~15:00 学内散策

15:00~ 第25回総会開催予定

16:00~ 理事長他 母校大学の恩師、教職員の皆さんとの座談会

17:00~ 沼田校舎へ移動(マイクロバスで夜の広島の町を散歩予定)

18:00~ 懇親会

10月12日(日) 9:00頃 沼田校舎出発予定

10:00~ 自由行動(市内散策:思い出の場所等へ)

12:00頃 昼食のため全員集合

なつかしい広島の味を楽しめる、味の店「久里川」を予約済み

(広島工大OB生経営)

14:00頃 広島市内出発予定

18:00頃 佐世保三河内到着予定

19:30頃 長崎市内到着予定……解散

母校のホームカミング受入担当窓口支部担当者

広島工業大学同窓会支部担当責任者機械システム工学科 小西 正明

People

「17年前と現在」

株式会社フローリック

技術本部 西日本技術センター勤務

檜垣 誠 [昭和61年
土木工学科卒業]



日本国中が沸いたサッカーワールドカップの熱風が過ぎ去り、長期の経済停滞による企業倒産が相次ぎ、自分の将来像が描きにくくなっている昨今ですが、それでも何とか新世紀三年目を元気に迎えることが出来ました。気が付けば今年でもう40歳、広島工業大学を卒業して17年が経とうとしています。

○まずは自己紹介

学生番号は574112だったと思います。氏名は檜垣 誠です。ヒガキと読んで下さい。実は学生当時、山田 誠でしたが、婚姻により名字が変わりました。いわゆる婿養子です。家族構成は妻一人(あたり前)、息子一人(なんとか一人出来ました)です。

○17年前の私

学生時代の私と言えば、クラブ活動はせず、取り敢えず朝はきちんと学校に行き授業はまじめに受けていたつもりでしたが、構造力学は特に苦手で、当時構造力学の中山先生に、これだけ授業に出て落とす人は珍しいと言われました。要はまじめに授業を受けてなかったんでしょう。授業が終われば行きつけのパチンコ屋に直行してひたすら引き落としのできない貯金を続け、夜は中国語のお勉強です(ポン、チー、ロン、満貫!)。週末は学生の方際でボトルキープをした店まで持ってい

てよく飲みにも行きました。親のすねをとことん囓りまくるとんでもない学生です。しかし、今の自分から思えばかなり羨ましい生活です。就職も決まり卒業を前に一応いろいろな夢、希望を一丁前にふくらませていました。私は土木工学科卒業なので、自分はどんな橋の建設工事に係わるであろうか、自分はどんなダム工事に係わるであろうか、などなど。ところが、自分が勤務した会社は、コンクリートの中に入れる減水剤と呼ばれる薬剤(コンクリート用化学混和剤と言う)を販売する会社で(入社当時の社名はサンフロー株式会社)、橋やダム、一般建築物などに使われるコンクリートの1㎡中にわずか1%程度しか使用しない材料メーカーで、でっかい夢のわりには、細かい仕事をするように思えてがっかりした記憶があります。学業成績は不明、取り敢えず卒業できた事に、ひたすら大学関係者に感謝しております。

就職して最初の勤務地は埼玉県東松山市でした。生まれて初めて関東に行く私にとって、埼玉県には海が無く、夕日も烟に沈み、なんて所に來たんだと、毎日、枕を涙で濡らしていました(うそ)。実際の業務は、販売会社でありながら、幸運(?)にも、技術部門のしかも研究所に配属となりました。日夜、コンクリート用化学混和剤の開発と研究を行っていましたが、当時の上司は私以上に忍耐力のある人でした。なんせ、将来、化けるか化けなかわからない若造を我慢強く使い続けて頂いたからです。私の上司の口癖は、「お前らひよこは何でもやれ! それが間違いだとしてもとにかくやれ! 今のうちに恥をかけ!」でした(なんていい上司だったんでしょう)。ノーベル賞を受賞された田中耕一さんは、間違った試薬を使用して、その結果がノーベル賞に結びついたと報道されていましたが、入社当時の私は、田中さん以上に間違い、失敗の連続だったはずです。でもノー

ベル賞どころか社内表彰すらありません（あたりまえだ！）。

以上の通り17年前の私は、良く言えば明朗快活、悪く言えばバツバラパー人間（何を考えているのか解らない人）でした。

○現在の私

平成12年4月1日より、転勤で山口県岩国市に移動となり現在に至っています。近年の建設工事は、多種多様な工法および新材料が多く使用され、新工法においては技術力が、また、新材料においては高性能化が益々進んでいます。そんな中、当社は、地方の顧客（主に西日本地区）に対してもスピーディな対応が出来るようにと、新設の技術部署を作りその担当者になりました。久しぶりに戻って来た広島、岩国の印象は、17年前の私のいた時とほとんど変わっていない、と言うのが第一印象でした。強いて言えば、ビッグアーチとアストラムライン、そして宇品あたり的高速道路でしょうか（本当はもっとあるんでしょうが）。地方都市の代表的な街でありながら、変わらぬ街を見て安心する反面、交通基盤の整備が大都市より遅れているのを見ると、建設関係の仕事に従事している者としてちょっとがっかりもしました。

現在の業務は、当社の製品であるコンクリート用化学混和剤の販売に対する技術フォローがメインですが、新しいコンクリート技術の情報収集や、それに対応した混和剤(材)の開発ならびに技術指導等を行っております。与えられた仕事は全くと言っていいほど無く、自分の足で仕事を探し、自分で仕事を作ると言う、ほとんど野放し状態です。実は今気が付いたんですが、結局は17年前とちょっとも変わってないですね。は、は、は。関東での



勤務を含め今までに行ったことのあるのは、沖縄県以外の46都道府県で、海外も、韓国および台湾までその行動範囲を広げ、パスポートは成田と韓国と台湾の出国、入国のスタンプで一杯です。行った先々でおいしい食べ物を食べ、おいしい酒を飲み、必ずしも楽しい思い出ばかりではありませんが、いろんな人と出会い、技術論争をして、総合的には結構楽しくやっています。これからも、元気が一番でやっていこうと思います。

○今の工大生へ

最近、ちょくちょく工大にお邪魔しています。建設工学科の伊藤助教授の所によくお茶を飲みに行ってます。最近の工大生の印象は、静かだまじめです（我々の時は結構ひどかった）。もっと元気を出して、自己主張をして下さい。そして、地方に留まらずに、大都市で活躍してください。必ずや将来の自分の為になりますし、そこで得た物が財産となるでしょう。広島工大のネットワークをもっと全国に広げ、全国レベルになるようにお互い頑張りましょう。

○最後に

取り留めのない事を結構書いて（実際はパソコンですので、打って）しまいました。何せ、文才がありませんのでお許し下さい。最後になりましたが、同窓生の皆様、山口県岩国市近辺にお越しの際は是非お声掛け下さい。平成の大改修を行っている錦帯橋をご案内致します。50年に一度の改修工事です。二度と見られない方もおられると思います（たぶん私もそのうちの一人です）。

㈱フローリック 西日本技術センター

TEL 0827-24-6349



People

古賀 善治 [昭和45年
建築学科卒]

まずは、簡単な履歴から、

学生番号 415083 建築学科に在籍 可もなく不可もない目立たない学生だったと思う。廿日市町にあったパチンコ店（そのころは立ったまま遊戯をしていて、チュウリップが開き、そのチュウリップに2個玉が入るとまた開く、楽しい思い出です。）でよく負けていました。卒業後、長崎県庁に勤務、3年間勤めた後、一級建築士の免許を取得、大金持ちになってみよう。と、夢み家業の材木店を継ぎ、そして設計事務所も開く、予定では貸マンションを数件所有してるはず、世の中、そう甘くはない、現実の厳しさを悟るのに時はあまりかからなかった。55歳になったいま、残された時間が少なくなったのに、残っているものは夫婦でやっている材木店と数件のぼろアパート、それにカラオケスナック店、贅沢を言わなければそれでも、「よし」としよう。

私の趣味「ゴルフ」についておしゃべりをしたい。

先哲の言葉に「40歳にして惑わず」とあるが、私は「40歳にしてゴルフを学ぶ」である。さっそく広島工業大建築科の同期生、田口秀人氏（長崎職業能力開発促進センター勤務）に教えをこう（ハンデー18）グリップのにぎり方から始まり、アイアン、ドライバーの打ち方、そしてルールとマナー、単に穴の中に入れる遊びと思っていたのに、なんと難しそうなスポーツだな、とってしまった。熱心な田口コーチのおかげ、100を切るのに一年はかからなかった。その99でまわった日、2人でお祝いに数件飲みまわった。その日は、おまけに大変なプレゼントまでいただいてしまった。一人で帰る途中、車に跳ねられてしまったのです。車はフロントガラス損壊、私は幸いにも、頭を11針縫う程度の軽症ですんだ。その日以来、夜出かけるときは、白基調の目立つ服装を心掛けている。

昨年の支部同窓会に新たなる会員が、広島から来てくれた。私より四年後輩になる、土木科卒業



近藤

星川

古賀
(本人)

田口

の星川氏（前田道路長崎所長）である。いままで、支部ゴルフ愛好会のメンバーは私、田口氏、近藤俊美氏（42年入学、機械科卒）であったが、星川氏がそのメンバーに加わったので、よりおもしろいゲームもできることとなった。つい先日のお話であるが、彼と私、昼食代をにぎってのゲーム、もつれにもつれ勝敗は、最終ホールに持ち込まれた。1.5mのパットをきめれば私の勝ち、傾斜のないやさしいライン、もののみごとにハズシ彼を喜ばす。「先輩、やさしい人ですね、」だって、彼のパットの距離はなんと70cm、上手い人なら片目ではいる距離である。で、どうなった？・・・

その彼から、おいしい「かき」の食べ方をおしえてもらった。殻付きの「かき」の食べ方である。まずその「かき」を、たわし等でよく洗う。（殻が汚れていると泥の臭みが出る場合がある）それを一個につき50秒間レンジで熱を通す。つまり、5個だと4分くらいである。次にレンジから取り出すと殻を開け（あきの少ない場合は、ドライバーなどを使用する）それにレモンなど柑橘類をかけて食するのである。それ以来、殻付き「かき」のとりことなっている。

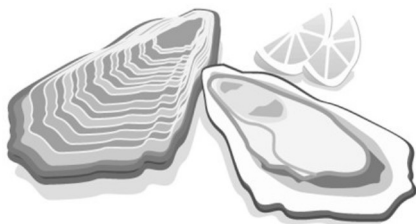
ゴルフの話にもどそう。長崎県支部十周年総会のことである。そのときは、鶴総長みずから御出席いただいた。雲上人であった方と身近で飲食することなど思いもしなかったものです。いっしょに同席し、和やかな雰囲気の中で、お酒などいただいていると、話題が《ゴルフ》に移ったのである。私などお酒の力を借りればかなり大胆なことでもいえる。総長に、さっそくお願いをした。「こ

の近くに素晴らしいゴルフ場がありますが、明日、いっしょにまわられませんか？」と、「道具もなにも用意してないよ。」とのご返事である。「何もかも用意いたしますので。」しばらくお考えであったが、すぐに快諾していただいた。（そのとき総長のお年は、74歳だった。と記憶している。）

次の日、有明海と天草灘につうじる橘湾がよく見わたせる快晴のゴルフ日和である。メンバーは、総長、田口氏、平谷氏（東洋建設所長、41年入学、土木科）そして小生である。雲仙岳、小浜温泉の湯煙の立つ海岸線を見下ろしながら、ハーフを終え、昼食を取る。その食事中、総長が、「わが学校の生徒及び卒業生の皆は、私の宝であり、そして、私の子供たちである。皆がそこそこ、幸せになってくれるのがいちばんうれしい。」と、言っておられた。「子だくさんの父（総長）、いつまでも元気で長生きをしてください。」

その時、記念として、ゴルフボール頂いたが、サインのないのが残念である。大切な方等から頂き物があつた場合、必ずサインのおねだりをする事、お勧めする。

この場をお借りしまして広島工大卒業生に一言、諫早市内でカラオケスナックを営んでいます。（店名、ニュー和、電話22-5187）工大用ボトルを入れていますので勝手にお飲みください。それと、ゴルフ場が、30分以内に6件もあり、平日はがらがらしています。料金も6500円（ビジター、平日）からあります。お付き合いしますので是非遊びに来てください。お待ちしております。



People

新保 栄一 [昭和45年
経営工学科卒]

昭和45年経営工学科卒業の新保と申します。30年余り付き合っているカメラ、フィルムについて少し書いてみようと思います。但しちゃんとした専門教育を受けたわけではありませんので、あくまでも私が長年経験してみでの感想ということになります。学生時代はカメラも相当高価なものだったため、カメラを買って趣味で写真をとという経済的余裕はありませんでした。大学を卒業し就職をして多少生活に余裕が出来てやっとカメラを買うことが出来たのです。

最初に買うカメラは何にしようかといろいろと悩みましたが、写真を習った先生や先輩方の勧めでニコンが良いと言われ、そうすることにしました。最初に買ったのがニコマートというカメラです。TTL（スルーザレンズ）開放測光という当時としては非常に優れた測光方式のカメラでした。それからいろいろカメラを買い換えたり買い足したりしてきましたが、最初に買ったニコンから離れることが出来ず、以来ニコンF、F2、FA、FM2、F5、F100とずっとニコンです。いろいろ買ったものだと自分ながら呆れています。ライバルのC社は途中何度かレンズマウントを変更し新しいカメラには以前のレンズは使用できないといった状態がおきました。幸いにニコンだけはずっとFマウントを貫いてくれました。勿論オートフォーカスカメラを出すときも変更しませんでした。おかげで昔からのレンズがそのまま現在でも使用できるのです。但し新しいカメラに古いレンズをつけると撮影は出来ますが、新しいカメラの性能をフルに発揮する事は出来ません。でもこれは仕方のないことだと思います。

時代が進むにつれカメラも露出計内蔵だけでなく、絞り優先、シャッター速度優先、プログラム（完全なカメラ任せ）といったオート機能がつくようになりましたが、なんとなくオートと言うのに抵抗があり露出は自分の勘で決めることにこだわっていました。しかしだんだんとカメラのそう



いった機能も進化してくると、いつの間にかそれに頼るというか、信頼するようになっていました。しかしいくら進化しても100%任せきりにすることは出来ません。やはり最後は自分の勘を働かせる必要があります。でもその割合がだんだんと少なくなってきたことは確かです。

さて今ではコンパクトカメラ、一眼レフカメラともオートフォーカスが当たり前になっています。ただ一眼レフカメラはファインダー内で、どこにピントが合っているのか確認できるので安心ですが、コンパクトカメラはピントの確認が出来ないので、取説をよく読んで測距方式（パッシブ、アクティブの2通りあります）の違いなど特徴を理解しておかないと、撮ってはみたが肝心なところがピンボケだったということになります。それからコンパクトカメラ（一部一眼レフカメラにも）にはストロボ（本来この言葉は商品名なのですが

解りやすいのでこう呼ばさせていただきます) 内蔵が当たり前になっています。しかも暗くなると自動的に発光すると言う一見結構な機能に思えますが、これが曲者なのです。例えばまだ皆さんの記憶に新しい事と思いますが、去年行なわれたサッカーのワールドカップでの事、試合開始と同時に客席から一斉に光ったストロボ、あれはまったく意味がありません。カメラについているストロボは当然光量が小さいので、使用フィルムにもよりますがせいぜい3 mからよくて6 mまで届けばよいほうなのです。ですからあんな遠くのスタンドからいくらストロボを光らせても選手まで光が届くわけが無いのです。かえって選手のプレイの邪魔になっているだけです。

フィルムは私が写真(記念写真ではなく作品作りの為の写真)を始めた頃には当然カラーもありましたが、まだまだ白黒フィルムがメインでした。私の周りもほとんど白黒だったように記憶しています。それでも割と高価だったので長尺フィルム(100フィート缶)を買って自分でパトローネに巻いて撮影していました。一缶で約18本取れ、値段的にも約半額以下で済んだと記憶しています。勿論現像、プリントも自分で行っていました。使用フィルムは日本にも、フジ、コニカとありますが、やはりコダックのTR Y-Xが主流でした。ASA(現在はISO) 400でフィルムベースが薄

く現像してもカールしなかったのです。それに比べ日本製はベースが厚くカールがひどかったためベタ(密着焼き)にするとときに大変苦勞をしました。今ではフジからネオパン400プレストという非常に優れた白黒フィルムが出ています。でも残念ながら現在は主にリバーサルフィルムで撮影しておりほとんど白黒フィルムを使っていません。

そしてフィルムもデジタルにとって替わられつつあるようです。確かにフィルム、現像代はいらないし撮影してすぐ画像が確認できるしと、いい事ずくめのようにですが、マイナス面もあります。それはコンパクトデジカメでは後部にある液晶画面を見て撮影をする人がほとんど思われますが、この手を伸ばして撮影と言うことは両手でカメラを持っているだけなので、カメラが非常に不安定になりカメラブレを起こしやすいのです。反対にファインダーを覗くと言うことは肘が曲がるのでこの時脇をしめ、カメラを額にくっつけておけばしっかり保持されるからカメラブレを起こしにくいのです。ですからデジカメで撮影をする時には、カメラブレにより気をつけなければならないということになります。

これからも写真とはボツボツと長く付き合いをして行こうと思っています。

最後に広島工業大学及び同窓会の益々の発展を心より祈りいたしております。



大 学 だ よ り

平成15年度広島工業大学公開講座等のご案内

(広島工業大学企画広報室)

「ものづくり」の新生を目指し、日夜ご奮闘、ご活躍されている同窓生の皆様方に、広島工業大学は心からエールをお送りいたします。

ご承知のとおり、「ものづくり」の新生、研究成果の開放、理工分野への理解の増進、キャリアアップを含む生涯学習の提供等、大学、特に理工系大学に対する社会の期待は、ますます大きくまた厳しいものがあります。広島工業大学は、中国・四国地域を拠点とする理工系の大学として、同窓生の皆様はもちろん、地域のご期待に応え、支持されるよう、より一層の大学改革、充実を図っていく所存です。

さて平成15年度の大学開放、生涯学習提供の施策の一環として、次のとおり講座を開催いたします。まだ未定の部分がありますが、前年度と同様に実施して参りますので、是非、ご参加いただきますよう、また回りの方にもお誘いいただきますようお願いいたします。

1. 広島工業大学公開講座(主催 広島工業大学) 年1回

日 程 5月31日(土)、6月7日(土)、6月14日(土)の3日間 13:30~16:50、1日3講座、各講座60分間

場 所 広島市まちづくり市民交流プラザ (広島市中区袋町6-36)

内容等 工学部建設工学科が担当
総合テーマ「地水火風、そして街—私たちのくらしと建設工学—」

備 考 開催日の1か月前頃から案内状、新聞広告、大学HP等にて案内・広報します。

2. 広島工業大学公開シンポジウム(主催 広島工業大学) 年2回

「科学技術と日常生活との対話」を一貫したメ

インテーマとし、その時折々のテーマにより、斯界でご活躍の大学教員、企業人やマスコミ関係者を講師に迎え、一般の方にも分かり易く解説し、身近な問題として考えることを目的としています。

日 程 第1回：7月19日(土)、
第2回：12月6日(土)の2回(予定)

場 所 広島国際会議場
(広島市中区中島町1-5)

内容等 第1部：基調講演、第2部：パネルディスカッションで構成

参加費 無料

備 考 各開催日の約1か月前から案内状、新聞広告、大学HP等にて案内・広報します。

(参考：平成14年度実績)

第1回 7月20日(土) 13:30~16:45、
テーマ「空気をきれいにしたい 空気清浄化技術を考える〜イオン家電は花盛り〜」

第2回 12月7日(土) 13:30~16:45、
テーマ「あじのある『味』なお話—味を科学してみよう—」

3. プラザシティカレッジ(主催：広島市教育委員会等) 年1回

本学から次のとおり参加します。

日 時 平成15年7月4日~7月25日(毎週金曜日、全4回)(予定)
18:30~20:00

場 所 広島市まちづくり市民交流プラザ(広島市中区袋町6-36)(予定)

内 容 テーマ「都市環境と建築の関わり」
講 師 清田誠良(環境学部環境デザイン学科助教授)

備 考 広報、問合せ・申込受付は広島市まちづくり市民交流プラザが行ないます。

線路は続くよ、どこまでも

第27期広島工業大学体育会本部

本部長 上山 和宏

目の前に続く無限の草原。一年前、気付けば私はそんな場所に立っていた。後ろを振り返れば、先輩方が努力して敷いて下さった一本の長い線路が続いていた。しかし、目の前には、何もない。私はこう感じた。ここから先は、私達が創っていくのだと。

2001年12月、私は第27期体育会本部長となった。たくさんの本部役員と共に一致団結し、体育会を盛り上げていこうという気持ちになった。ところが、当初の実態と言えば、一致団結どころか、正直バラバラだった。体育会本部の活動とは何かということを実感していないことも事実だった。しかし、さまざまな活動を通じ、徐々にまとまり始め、意味と面白味を気付くようになった。

そんな中開催された、体育会本部の一大行事、スポーツフェスティバル(第41回体育祭)。今振り返ると、「暑かった!」「燃えた!」「笑った!」これ以外に当てはまる言葉は思い付かない。球技大会では、予想を越える参加者が集まった。負けてしまった参加者から『来年は優勝するぞ!』『来年も絶対出場したい!』そんな声を聞き、本当に嬉しく思った。

あおぞら運動会においても、広報活動を活発に行った成果が表れ、テントから参加者が溢れかえるほど大勢の参加者が集まった。地域の小学校の先生と生徒が手を取り合い来て下さったのは本当に嬉しかった。大いに盛り上がったメインイベント。それぞれ参加が100人を越え、割れんばかりの拍手と笑い声。その他の競技にも絶えず行列ができ、たくさんの歓声が揚がっていた。そんな楽しそうな歓声を耳にし、参加者のみではなく我々、体育会本部役員も楽しませてもらった。行事終了後、体育会本部員と飲んだ、冷えたジュースが本当に美味しかったのと言うまでもない。そして、その夜は、疲れ果てて熟睡した事も。

三宅駅伝大会に始まり、鏡開き、スポーツフェスティバル、フレッシュマンセミナー、少年少女球技・剣道大会、スポーツ講演会、後期球技大会等、様々な行事を開催してきたが、いずれも昨日



の事のように思い出される。また、学生自治会執行部・文化局、工大祭実行委員会と協力し数々の学内行事に携り、体育会本部とは異なる、他の学生団体という枠にとらわれず、本学学生として協力し一致団結し何かを成し遂げる喜びも肌で感じた。

行事の際に限らず、大学関係者の方々とも幾度と会議を行い、わがままを言ったこともあった。理解し難いような意見を述べた事もあったはずだ。しかし、それは体育会の発展と活躍、そして、本学学生の有意義な学生生活への貢献という目標があったからという事を理解して頂ければと思う。これらに関し、関係者の方々には、本当に多大なるご迷惑をお掛けしたと感じております。この場を借りてお詫び申し上げます。

ところで、私達は一体何cm、何m、何km線路を伸ばす事が出来たのだろうか。全く伸ばす事ができなかったのではないだろうか。進むべき方向を間違えていたのではないだろうか。正直そんな不安がよぎる。広大な草原に線路を伸ばす事が出来たか否かは分からないが、いつでも信頼し喜び合える仲間を得て、私達の心の中に頑丈な新たな線路ができあがった事は間違い無い。次期の体育会本部にも、そんな仲間を得ることと、私達が敷くことの出来なかった線路を敷いてくれることを願っている。

末筆となりましたが、どこまでも続く体育会の発展と活躍を祈念しております。

～線路は続くよ、どこまでも～

INFORMATION同窓会本部

平成14年度支部発足

広島市水道局 発会式 平成14年5月16日 18:30～(八丁堀シャンテ)
豊国工業 発 足 平成14年9月28日

平成14年度支部総会・懇親会開催

高 知 平成14年6月15日 18:00～
(サンライズホテル)
広島第一 平成14年7月6日 18:00～
(三次グランドホテル)
山口周南 平成14年10月19日 18:00～
(ホテルサンルート徳山)
長 崎 県 平成14年11月16日 18:00～
(出島会館)

愛 媛 県 平成14年11月9日 18:30～
(シャトーテル松山)
岡 山 平成14年11月9日 17:30～
(ホテルニューオカヤマ)
熊 本 県 平成15年1月25日 17:00～
(熊本交通センターホテル)
中 電 工 平成14年9月28日 17:30～
(広島工大広島校舎)

同窓会地域・県支部の支部長および連絡先

＜地域支部＞

A 1 関東支部
支部長 上 村 忠 (45年電子卒)
〒333-0811 川口市戸塚5-18-21 (048) 295-8059
日立公共システムエンジニアリング㈱ (03) 5632-1200
A 2 岩国支部
支部長 銀 岡 喜 則 (46年土木卒)
〒740-0305 岩国市大字二鹿51 (0827) 47-2757
A 3 近畿支部
支部長 馬 頭 睦 夫 (42年電子卒)
〒533-0013 大阪市東淀川区豊里5-17-1-102

(06) 326-3691
木村化工機㈱ (06) 488-2508

A 4 山口周南支部
支部長 長 弘 光 高 (41年電子卒)
〒744-0024 下松市末武上東中村 (0833) 43-4891
二葉電工㈱ (0834) 25-1065

A 5 ミシガン支部
支部長 寺 本 正 文 (51年機械卒)
412 RICHARDS DRIVE MONROE, MI, 48162
(734) 241-1482

A 6 名古屋支部
支部長 打 田 博 之 (44年電気卒)
〒442-0876 豊川市中部町2-22-6 (0533) 84-0971
新東プラスチックカンパニー (0533) 93-3251

A 7 広島第一支部
支部長 和 田 一 雄 (47年土木卒)
〒739-1804 高田郡高宮町大字房後125-20
㈱和田組 (0826) 57-1314

＜県支部＞

B 1 長崎県支部
支部長 山 本 良 仁 (47年土木卒)
〒852-8152 長崎市住吉台2-2-201 (095) 847-7998

B 2 徳島県支部
支部長 谷 本 義 明 (45年建築卒)
〒774-0045 阿南市宝田町平岡813 (0884) 22-3162

B 3 香川支部
支部長 田 尾 浩 一 (49年経営卒)
〒762-0011 坂出市江尻町483-16
㈱石垣 資材部 (0877) 44-4111

B 4 宮崎県支部
支部長 谷 口 忠 光 (43年機械卒)
〒889-1901 北諸県郡三股町樺山4227-5
(0986) 52-0952

B 5 島根県支部
支部長 折 田 昌 弘 (38年電子卒)
〒690-0854 松江市南平台18-2 (0852) 26-3352

B 6 愛媛県支部
支部長 風 本 理 (51年電子卒)
〒790-0011 松山市千舟町7-8-2 ㈱ホクト
(089) 932-2345

B 7 岡山支部
支部長 村 上 侑 (38年電子卒)
〒700-0901 岡山市本町6-36 第1セントラルビル4 F
テイクコ㈱内 安田邦夫 (086) 232-0311

B 8 大分県支部
支部長 平 川 敏 郎 (45年土木卒)
〒870-0000 大分市大字三芳1239-1
協同エンジニアリング㈱ (0975) 45-2111

B 9 熊本県支部
支部長 山 下 忠 道 (48年土木卒)
〒862-0920 熊本市月出3-1-39
空間共同社 福岡真一 (096) 381-7316

B10 鹿児島県支部
支部長 井 料 征 (43年電気卒)
〒890-0086 鹿児島市日之出町43-21-201
田之上 和博 (099) 258-6334

B11 福岡支部
支部長 山 田 忠 秀 (48年土木卒)
〒839-0863 久留米市国分町1648-7 ㈱クスコ
(0942) 21-0021

B12 鳥取県支部
支部長 仙 田 定 雄 (44年建築卒)
〒682-0816 倉吉市駄経寺町60-1
寿土木㈱ 小木高壽 (0858) 22-4858

B13 高知支部
支部長 田 中 顕 一 (44年電子卒)
〒781-0270 高知市長浜134-42 川渕伸 (0888) 42-7230
㈱テレビ高知 川渕 伸 (0888) 80-1115

B14 佐賀支部
支部長 指 山 紹 男 (48年経営卒)
〒840-0212 佐賀郡大和町池上3595木下A P202
(0952) 62-4008

広島工業大学同窓会地区、県、職場支部の結成状況

(平成15年2月現在)

〈支部結成〉	〈区分〉	〈支 部 名〉
A 1)	昭和44.7.13	地区 関東支部
A 2)	昭和50.4.1	地区 岩国支部
A 3)	昭和53.9.20	地区 近畿支部
A 4)	平成4.4.18	地区 山口周南支部
A 5)	平成4.8.19	地区 ミシガン支部
A 6)	平成6.5.28	地区 名古屋支部
A 7)	平成7.6.30	地区 広島第一支部
B 1)	昭和54.10.20	県 長崎県支部
B 2)	昭和54.12.1	県 徳島県支部
B 3)	昭和54.12.2	県 香川支部
B 4)	昭和57.6.19	県 宮崎県支部
B 5)	平成3.3.16	県 島根県支部
B 6)	平成3.11.2	県 愛媛県支部
B 7)	平成4.10.31	県 岡山支部
B 8)	平成4.11.7	県 大分県支部
B 9)	平成5.6.12	県 熊本県支部
B10)	平成5.11.27	県 鹿児島県支部
B11)	平成6.10.15	県 福岡支部
B12)	平成6.12.10	県 鳥取県支部
B13)	平成8.3.16	県 高知支部
B14)	平成8.10.5	県 佐賀支部
C 1)	昭和54.4.22	職場 ジューキ広島製作所
C 2)	昭和54.4.22	職場 中国電機製造㈱
C 3)	昭和54.4.22	職場 大協㈱
C 4)	昭和54.4.22	職場 中国電力㈱
C 5)	昭和54.4.22	職場 コベルコ建機㈱
C 6)	昭和54.4.22	職場 三建産業㈱
C 7)	昭和56.9.26	職場 菱電商事㈱
C 8)	昭和57.3.20	職場 ㈱誠和
C 9)	昭和57.6.5	職場 ミヨシ電子㈱
C10)	昭和57.6.5	職場 マツダ㈱
C11)	昭和57.11.27	職場 広島県信用金庫
C12)	昭和59.1.21	職場 ㈱佐竹製作所
C13)	昭和60.3.1	職場 広島市役所
C14)	昭和61.6	職場 菱明技研㈱
C15)	昭和61.10	職場 廿日市役所
C16)	昭和61.11	職場 ㈱中電工
C17)	昭和62.12.12	職場 シギヤ精機製作所
C18)	昭和63.5.13	職場 西川化成㈱
C19)	昭和63.6.27	職場 広島市消防局
C20)	平成1.4.22	職場 ㈱エクセディ
C21)	平成2.4.21	職場 ホーコス㈱
C22)	平成2.7.27	職場 福山市役所
C23)	平成2.7.27	職場 ㈱ヒロテック
C24)	平成3.8.11	職場 ㈱コンセック
C25)	平成4.2.8	職場 ㈱日本製鋼所
C26)	平成4.3.7	職場 ㈱ソルコム
C27)	平成4.6.26	職場 カワダ㈱
C28)	平成6.12.18	職場 ヒルトン工業㈱
C29)	平成7.3.31	職場 富士通テン㈱
C30)	平成7.6.30	職場 日本電設工業㈱
C31)	平成7.9.29	職場 ㈱荒谷建設コンサルタント
C32)	平成8.7.19	職場 ㈱熊平製作所
C33)	平成10.7.4	職場 川鉄建材㈱
C34)	平成13.2.17	職場 東芝エンジニアリング㈱
C35)	平成14.5.16	職場 広島市水道局
C36)	平成14.9.28	職場 豊国工業㈱

- (A) 地区支部.....7
(B) 県支部.....14
(C) 職場支部.....36

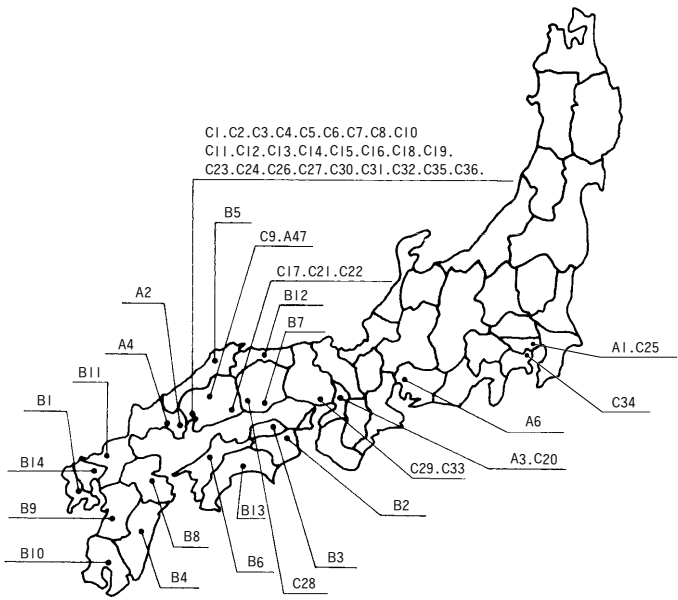


図1 支部結成のようす
地区・県支部 20名以上
職場支部 10名以上

支部結成のために必要とされる手続き

- 1) 支部結成発起人(氏名・卒業年度・学科など)
- 2) 支部所属会員名簿(同上)
- 3) 支部規約案(見本があります。参考にしてください。)
- 4) 支部事務局となる連絡場所(代表者・連絡先住所電話番号など)
- 5) 正式に支部として承認されましたら、支部規約にもとづき支部長等役員名簿を、本部に届ける。

〈支部結成のための連絡先〉

〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
広島工業大学同窓会本部事務局
TEL(082)921-3121 FAX(082)922-1925



松江先生を偲ぶ

(株)モルテン

折田 康人 [昭和46年
機械工学科卒]

松江先生の突然のご逝去に、同窓生一同、心からお悔み申し上げます。

いつも温かな笑みを湛えた先生のお顔が、私の心に焼き付いております。先生が亡くなられたのが、今でも本当に信じられない毎日です。

私のみならず、松江ゼミで学んだ一人ひとりにとりまして先生のご逝去は、本当に残念と言うしかありません。

さて、私事で誠に恐縮ですが、先生には本当にお世話になりました。仕事の事をいろいろご相談しても、その度に問題解決のためのアドバイスを頂きました。ある時はサッカーボールの成形機の機械設計、またある時は自動車用防振ゴムの開発

で行き詰まり、失敗しかけていた開発が成功した事もありました。

また、先生は何事にも興味を示され、探究心が大変旺盛であられたと思います。中でも「海」が大好きで、ヨット等でのクルージングや魚釣りに度々一緒させて頂いた時の思い出も、一生忘れる事は出来ません。

また、先生のご自宅にお邪魔しては一杯飲むというのも、大変楽しみでありました。

本当に沢山の思い出があり、走馬灯の様に私の頭の中を駆け巡ります。

今日の自分があるのは、先生にご指導頂いた賜物だと厚く感謝を申し上げます。

心からのご冥福をお祈り申し上げます。

平成14年度 議 事 録

幹 事 会

- ◎第1回幹事会
平成14年5月29日(水)
審議事項 1. 平成14年度同窓会運営について
- ◎第2回幹事会
平成14年6月26日(水)
審議事項 1. 卒業生名簿システムについて
2. 個人情報の取り扱い等について
3. 同窓会会報について
- ◎第3回幹事会
平成14年9月25日(水)
審議事項 1. 連絡協議会の打ち合わせ

役 員 会

- ◎第1回役員会
平成14年6月1日(土)
審議事項 1. 総会の反省について
2. 卒業生名簿管理システムのリニューアルについて
3. 会報の発行について
報告事項 1. 在学生援助
2. 支部総会関係

3. 大学との連絡協議会の日程

- ◎第2回役員会
平成14年7月13日(土)
審議事項 1. 卒業生名簿管理システムについて
2. 個人情報の取り扱い等について
3. 総会決算報告について
4. 事業検討部会報告について
報告事項 1. 在学生援助
2. 支部総会関係
- ◎第3回役員会
平成14年9月28日(土)
審議事項 1. 連絡協議会の打ち合わせ
報告事項 1. 在学生援助
2. 支部総会関係
- ◎第4回役員会
平成14年12月14日(土)
審議事項 1. 平成15年度総会について
2. 合同分科会について
報告事項 1. 在学生援助
2. 支部総会関係

平成14年度 在学生援助

同窓会では平成14年度、在学生援助を目的として体育祭30万円、大学祭50万円、クラブ援助60万円、奨学金90万円など予算化しました。

下に示すクラブは、1月現在までに申請があり、規定に従い援助したクラブ名と援助額です。

《体育系クラブ》

バスケットボール部	西日本学生バスケットボール選手権大会	100,000円
空手道部	全日本学生空手道大会	24,000円
弓道部	全日本学生弓道選手権大会	18,000円

《文化系クラブ》

茶道部	定例茶会	20,000円
〃	霜月茶会	20,000円
写真部	11大学合同写真展	20,000円

訃 報

同窓生一同、心からご冥福をお祈りいたします。

谷 喜 夫 先生	元建築学科助教授	平成14年 5 月30日	享年85才
松 江 孝 博 先生	機械システム工学科教授	平成14年 8 月27日	享年58才
小 塩 高 文 先生	元電子工学科教授	平成14年 9 月14日	享年82才
桐 谷 道 雄 先生	電子・光システム工学科特任教授	平成15年 1 月23日	享年70才

ご逝去の旨、連絡をいただいた会員の方々です。謹んでご冥福をお祈りいたします。(敬称略)

371085 福 田 吉 郎	平成14年 2 月 9 日	404008 石 川 徹	平成13年 4 月16日
401023 太 田 暁 道	平成13年10月 9 日	444027 海 田 文 雄	平成12年 2 月15日
95A050 木 幡 佑 也	平成13年 7 月 6 日	93D108 田 中 淳	平成14年 4 月27日
402042 木 村 宏	平成14年10月24日	455013 上 野 勝 信	平成13年 5 月31日
892101 牧 原 孝 志	平成13年 1 月29日	465100 光 田 龍 彦	平成13年12月16日
413041 大 村 正 輝	平成13年 7 月24日	465264 吉 村 稔	平成13年 5 月
413096 黒 田 英 治	平成14年 1 月 5 日	525156 板 倉 勝 美	平成 6 年 9 月19日
423090 尾 藤 恒 夫	平成14年 2 月12日	565052 田 中 一 久	平成14年 2 月10日
443014 上 野 裕 敏	平成13年 6 月 3 日	436103 日 野 清 三	平成14年 4 月24日
563068 根 間 正 行	平成 8 年11月25日	446098 平 本 春 康	平成10年12月12日

●ご注意ください●

最近、同窓会あるいは広島工大就職部と名乗り、勤務先などを尋ねる電話がかかっているようです。

同窓会および大学では、電話による個人データの調査は行っておりません。

また、金融商品などの勧誘電話で迷惑しているなどの情報も届いております。

会員の皆様、どうぞご注意ください。

編集後記

卒業生の皆さん、こんにちは。

年度末を迎え、公私ともにお忙しいことと思います。

さて広島工業大学では今年も1000人余りの新卒業生が巣立って行きます。

とはいえこの新卒業生が乗りこむ「日本丸」は不況という大嵐のなか揺れに揺れており、船酔いする者もいることでしょう。そしてこの船を降り

ようとする者も出てくるでしょう。そんな時、幾多の荒波を乗り越えてこられた経験をお持ちの諸先輩方にご指導をいただき、この若者たちが一日も早く立派な船乗りになってくれることを切に望む次第であります。最後になりましたが、皆様方の益々のご活躍を心よりお祈り致します。

編集担当者

広島工業大学
同窓会誌第37号

発行 広島工業大学同窓会
編集 広島工業大学同窓会編集委員会
731-5193 広島市佐伯区三宅2丁目1-1
広島工業大学内広島工業大学同窓会
TEL(082)921-3121 内線8103
FAX(082)922-1925
E-mail:dosokai@jim.it-hiroshima.ac.jp
URL:<http://www.jim.it-hiroshima.ac.jp/dosokai/>

